



岐大通 2013

2013 J.League Division2

第1節 ファジアーノ岡山 戦

6/2(日) 19:00~

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

F C 岐阜大好き通信(岐大通)

6/2号

編集発行:『岐大通』製作委員会

今号の製作担当:

ささたく & 吉田铸造

today's guest : ファジアーノ岡山 2012 J2 1勝 14分 1敗 勝ち点 65 第8位

中国地方の社会人サッカーを牽引していた川崎製鉄水島サッカー部(1995年より移転して「ヴィッセル神戸」となる)のOBチームとして1975年から存在していたリバーフリーキッカーズを母体にして2003年に結成。2006年には中国リーグを制し地域リーグ決勝大会に駒を進めるも、決勝ラウンドでTDK、FC岐阜の後塵を拝し3位となりJFLに昇格出来ず。翌年、中国リーグ在籍ながらJリーグ準加盟が認められる(地域リーグ所属クラブの準加盟認定は初)。その年の地域決勝で優勝してJFLへ。JFL1年目で4位となりJリーグ参入。最高位は2012年のJ2・8位。(吉田铸造)

2013J2

順位表 第16節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績(岐阜から視て)

1	G大阪	33p	+16	31	15	A
2	神戸	33p	+12	28	16	A
3	長崎	29p	+5	19	14	
4	京都	28p	+10	26	16	H
5	栃木	28p	+8	20	12	A
6	千葉	27p	+11	25	14	H
7	岡山	26p	+6	22	16	
8	福岡	25p	+2	17	15	A
9	東京V	23p	+6	18	12	A
10	水戸	23p	+3	21	18	A
11	松本	23p	+3	17	14	A
12	山形	22p	+7	28	21	H
13	徳島	22p	-5	20	25	H
14	熊本	20p	-2	20	22	H
15	札幌	20p	-3	15	18	
16	愛媛	18p	-2	16	18	A
17	横浜FC	16p	-4	14	18	H
18	富山	16p	-10	15	25	H
19	鳥取	16p	-13	11	24	
20	北九州	11p	-13	12	25	
21	群馬	11p	-15	10	25	H
22	岐阜	7p	-22	7	29	---

アウェイ2連戦を、残念ながら2連敗で終えたFC岐阜。水戸戦では前半だけで3失点するなど、ふがいない敗戦だったが、福岡戦では最後までひたむきに走り続け、一度は追いつくなど、意地を見せた一戦だった。しかし、どんなに2連敗の事実が変わらない。5月中の5試合での成績は1分4敗。わずか勝ち点1しか獲得できず、順位は最下位のまま。2位との勝ち点差は4に開いてしまった。これ以上、勝ち点差が離されてしまうと、苦しくなってくる。ここは何としても勝利が、勝ち点3が必要だ。そして何より、今期はまだ1勝しかしておらず、ホームでは未勝利なのだ。サポーターはホーム初勝利を首を長くして待ち望んでいる。

さて、今節の対戦相手はファジアーノ岡山。前節、ホーム無敗記録が途切れてしまったが、現在は7位と勢いがあるチームだ。影山監督体制4年目でチーム戦術が浸透しており、守備が構築されている中、今期ジュビロ磐田から加入した#9FW荒田智之が、現時点で日本人トップの8得点を挙げるなど、攻撃面が強化されたのが好調の要因だろう。また、FC岐阜に2009年から2011年までの3年間、ジュビロ磐田からレンタル移籍で在籍し、今年から岡山にレンタル移籍した#14押谷祐樹も、チーム2位となる3得点を挙げている。押谷自身もFC岐阜相手に燃えているだろうが、岐阜の選手たちも「押谷にはやらせない」と、対抗意識を高めているだろう。彼らを止めることができれば、勝利が見えてくるはずだ。

岡山との通算対戦成績は5勝2分2敗、昨年は1勝1敗の成績。昨年のFC岐阜の2勝目は(5月6日のアウェイ・カンスタではあったが)岡山から挙げたものだ。今年も、岡山に勝利して、今期2勝目・ホーム初勝利をつかみとってほしい。

チームとして、ボールをゴール前まで運ぶことはできている。しかし、問題はフィニッシュの精度だ。もっと精度を上げないと、ゴールは奪えない。しかし、慎重になりすぎて誰もが他人任せでシュートを狙わなければ、DF陣を崩すことができない。この相反する課題を抱えながら、試合が終了するまで、ひたむきに走り続けるために、選手たちの気持ちを、背中を後押しするために、ホームでの大歓声が必要だ。選手と気持ちをつなげて、最後まで下を向かずに前を向き、一緒に万歳四唱で勝利の歓喜を分かち合おう。(ささたく)

次回 HomeGame

第18節 V・ファーレン長崎戦

6/8(土) 19:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp



本庄工業株式会社

<http://www.hon-jp-woodream.com/>

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町 1-23

tel:058-273-8998

「いらっしやいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。

休:月曜(定休日が変わりました!)



【第1節】岐阜0-0熊本

しかし、ホントに決まらないね。ゴールが。樋口の2本は別にして、最後が雑というか弱気というか。いったい、どうしたらいいんだろうか？熊本はこの試合まで3連勝。しかも、3試合連続3得点（ウラヤマシイ）という結果を出しているだけに相当厳しい戦いになると思っていたけど、予想してたほど、熊本の出来がよくなかなか返す返すも残念無念。ま、実際キビシイ内容だったけれども。前節の千葉といい、長良川へ来るとパフォーマンスが落ちるのかな？こういう試合だからこそ勝ちたかった……と群馬戦同様の感想になる。こうも結果が出ないと、ウチの出来が良かったから接戦になったのではなく、相手の調子が良くなかったからイイ勝負になった、とついついヒネた考えになってもしかたないのかな？

とはいえ、終盤の熊本のシュート2本には一瞬体が凍りつくような思いがした。特に、一本目のシュートは撃たれた瞬間「やられた……」と感じていたから、なぜボールがPA内に転がっているのか、しばらく状況がつかめなかったくらいだ（苦笑）。体力、集中力共に切れてたのかも知れない。

全体的には、ようやく「3バック」として戦えたように思う。染矢は高い位置取りで彼の持ち味がそこそこ出せていたと思う。あとは、何とか樋口に結果を出してもらいたいし、出させたい。とにかく、一点決めればケチャップがなんちゃら……になるんじゃないかな？

あと、もうそろそろ「大作戦」は封印した方がいいんじゃないだろうか？新井の高さは確かに魅力的だけれども、やはり、彼にはFWの動きを要求するのは厳しいと思う。ポストという役割は、ただハイボールに競り勝つだけではダメなんじゃないかな。「受け取って、配達」できなければポストマンとは呼べない。「プリーズ Mr. ポストマン」そんな曲があったよなあ……。（ぐん、）

【第15節】水戸4-1岐阜

あんまりこんな事書きたくはないが、今季最悪の試合だ……少なくとも前半が終わった時には、僕はそう思った。第15節、つまり全4試合のうち1/3の日程を消化して、さあ中盤戦、そろそろチームの戦術に選手も慣れてきて、チームが機能する（というか、して貰わないと困る（苦笑））って思ってたアウェイ。これまで相性のいい水戸が相手なだけに、ここで2勝目を…とと思っていたのだが…（溜息）。キックオフ直後は互角の攻防だったが、すぐに相手にペースを握られ、防戦一方の展開に。しかも、何が原因か判らないが、僕には「選手がふわふわしている」ように見えた。戦術とか技術の問題でなく、「前に向かう」「ボールを追う」「ゴールを狙う」といった、メンタル的と言っても良い部分で戦えているように感じられなかった。1失点目のミドルは中盤でセカンドボールを拾えずに相手を自由にやらせてしまったからだし、2点目は完全にDF陣の裏に抜かれて崩されての失点。3点目は更にひどくて、ボールを相手任せにした連携ミスでの失点にしか見えなかった。確かに、1失点目の時にデズモンドが負傷交替してしまったのは、守備には響いたとは思いますが…（溜息）。スコアはともかく、こんなひどい出来の試合は…と置いていたら、流石に後半は（ロッカールームで厳しい檄が飛んだのか、それとも相手の気が緩んだのか）選手たちの「戦

う姿勢」が感じられるようになった。ひたむきに走ってボールを追い、前を向き、シュートを撃っていく姿が見えた。敵陣ゴール前に押し込めるようになったおかげで、PKを獲得して1点を返すことができたが…68分の樋口のシュートが入っていれば、判らなかつたけれど…フィニッシュの精度が悪く、2点目を決められず時間が過ぎていくと、CKで4点目を決められて試合終了。惨敗だった。

悔しかった。負けたのもそうだけど、後半の戦う姿を見たら、余計に「なぜ前半からこれができなかったのか？」との考えを僕は消すことができなかつた。それは、現地にいた誰もが感じていたことだったのであるだろう、コールリーダーが選手やスタッフに話をした。こんな事は岐阜では初めてだと思うが、ブーイングでも怒号でもなく、お互いに話をした。その内容は長くなるので省略するが、選手やスタッフは「最後まで下を向かずに戦う」と約束してくれた。それは、このひどい試合の結果にあって、僅かな収穫だったかもしれない。

だから、もし選手たちが弱気なプレーをしていたら、みんな怒号や罵声やブーイングじゃなく、「下を向くな！前を向け！」と叱咤激励してやってほしい。僕はそうするつもりだ。（ささたく）

なんというか、とても気持ちのワルい試合。悪寒が走る、とても言った方がいいのか。こんな思いは、2008年のGW、メモリアルでの愛媛戦以来か？共に前半で0-3とされた試合。そして、なんというか理由もなく、ヌルっとした感じで失点してしまったことが共通しているような……。ま、あくまで超個人的な感覚なので、スルーしていただければ幸いです。そんな前半だったから、ハーフタイムには「今日よかったのは、ケーズデンキへ着いた時は暑かったけど、試合中は雨雲のおかげで涼しかったことと、結局、雨は降らなさそうなことぐらいだな。」などと思ってしまうくらい、半ばふてくされるといふか、放心状態といふか……。後半が始まる前には「ここから逆転するのがおもしろい」と自分に言い聞かせて臨む始末。

実際のところ、後半はそれこそ必死で攻撃に徹したため、水戸を圧倒したと思うが、決めるところを決めていたら4点は入ってる内容……と云ったら傲慢すぎるか？なんとかPKで一点は返したけど、こっちが決められないCKからあっさりトドメを刺されてジ・エンド。後半の内容を90分続けられるとは思わないから、途中で相手にボールを持たせることもやむなしと思うし、反対に後半の内容を「常にやってください」とは言わない。だいたい、前半で3点も取ったら相手も後半は引いてこちらの出方を見るよね？負けてる方はもう前がかりに攻めるしかないのだから、あんな展開にもなる。サッカーじゃ、よくある話だ。だけど、実力差があるチームなら、必死で攻めるこちらを交わしていなして、空いてる裏を衝いてさらに加点できるはず。水戸はそれができなかった。いったん、受け身にまわったら受けっぱなし。PK決めた後にこちらが先に追加点を挙げたらわからなかった……というのはい言過ぎかな？だからこそ、内容的には、広島や湘南にやられた1-7よりもキツかった。やられっ放しじゃないのに、アレ？と思ってる間に失点だもんな……。

以上が現地で見た感想だけど、翌日以降に仲間の観戦評を見聞きしたり、録画を見たりすると、現地で感じたほどには酷くないような気がした。水戸の前半の3点はホント間が悪いとしか言いようがないような……とか言ったらこれまた極端すぎるかな？水戸にとっては、すべてがうまく

いった試合だった。

あと、選手達が挨拶に来た時の、コールリーダーの一言一言は実に身に沁みた。録画を見ると説教でもしてるように見えるけど(苦笑)、実際は非難めいたことはもちろん、誹謗でも中傷でもなく、ただ切々と応援する側の気持ちを伝えてくれた。勝ち負けは、相手があるからしかたがない。ふだんの練習もできる限りみているから、やろうとする意図もわかっている。だからこそ、こんな試合をしちゃダメでしょう、と。岐阜のために、クラブのために、みんなのために、そして自分のために必死で戦う。そういう姿勢を見せてくれさえしたら、世界中のどこでも行くよ！そういう思いの籠った訴えだったから監督もキャプテンも真摯に受け止めてくれたし、キチンと答えてくれたんだと思う。試合の後だから早いとこクールダウンもしたかっただろうが遠征した他選手やスタッフの方々も最後まで聞いてくれた。だからこそ、FC岐阜コールで締めくくれた。ボクはそういう風を感じられた。これからも厳しい戦いが続く。「世界中のどこまでも……」行けるかどうかはわからないが、少なくとも今季の試合はどこへでも応援に駆け付けるつもりでいる。どうか、ケガだけには気をつけてがんばってほしい。(ぐん、)

【第16節】福岡2-1岐阜

ゲームが終わった瞬間、少し戸惑ってしまった。挨拶に来てくれるであろう選手達をどういう形で出迎えようかと。このアウェイ2連戦、そして、その前のホーム熊本戦。どの相手も特別出来がよかったワケじゃない。この日の福岡も、勝てる！とまでは言わないが、少なくとも勝ち点1は得られそうな内容だった。いや、笑われるかもしれないが、森安が退場してからもなお、圧倒していたようにも見えた。なんだよ！90分やれるんじゃない！！水戸戦の感想に「後半の内容を90分やれるとは思わないが……」みたいなことを書いたけど、そういう試合もちゃんとできる。実際この試合はどっちが一人少ないのかわからなかった。勝てるチャンスもあった。でも、負けた。よく戦った。でも、勝ち点を手にすることはできなかった。こういう試合を、こちら側に引き込めない勝負弱さ。今日の新井の使い方は間違っちゃいない。彼もミッションはそれなりに果たした。デズも前線でがんばった。野垣内も結果を出した。秀人のゴールは、今までのと同じように鮮やかだった。それだけに、決勝点の取られ方が悔しい。最終盤のセットプレーで相手FWがどフリー……。マークの人数が足りなかったのか？さすがに疲れから体が動かなかったのか？もしかして、森安の退場がなかったらアレは防げてたのか？繰り返しになるけど、10人でも互角以上に戦った。でも、またしても結果が出なかった。何が足りなかったのか。観戦仲間が言ってた「選手は誇りを持って戦った。でも、それだけでは勝てない」という言葉。悲しいかな、それがわかるような気がして、ちょっとばかりツラかった。それでも、前節の水戸戦後の約束を守ってくれた。だから、選手達が挨拶に来てくれた時自然と拍手で出迎えていた。

選手達もツライだろう。焦燥感に駆られ、自信も失いかけているかもしれない。そんな彼らを精一杯元気づけ、後押しをする。それしかできない。この先も、厳しい試合が続く。それでも、ただひたすらに、今日のような戦いを次節以降も続けてくれることを信じてスタジアムで声援を送るしかない。(ぐん、)

【ユース】チャレンジトーナメントほか

我々がFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は前のホーム試合から今日までに「5月12日(日)のクラブユース選手権1次リーグの最終節のFCERDE戦」と「5月15日(水)のG1リーグ第7節岐阜選抜U-16戦」「5月26日(日)のクラブユース選手権チャレンジトーナメント」「6月1日(土)のG1リーグ第3節帝京大可見B戦」がありました。原稿の締切の関係で帝京大可見B戦はフォロー出来ませんが、未観戦ではありますが、クラブユース選手権の結果を報告します。

まずは5月12日のクラブユース選手権1次リーグの最終節のFCERDE戦について。前節までに1次リーグ突破を決めていたFC岐阜ユースは何位で通過するかをかけてこの試合に臨みました。結果は19対0の大勝！この結果を受けてFC岐阜ユースは1次リーグを2位で通過しました。続く5月26日にクラブユース選手権の「チャレンジトーナメント」が有りました。この「チャレンジトーナメント」では1次リーグを勝ち上がったHONDA FC、FC岐阜ユース、愛知FCがそれぞれ昨年のクラブユース選手権地区決勝での成績上位の3チームであるジュビロ磐田、名古屋グランパス、清水エスパルスのユースチームと対戦し、勝ったチームが決勝トーナメントに進出できます。我々がFC岐阜ユースの対戦相手は名古屋グランパスユース。高校世代の国内トップリーグであるプレミアリーグウエストに所属している強豪チームです。

観戦した人の情報を総合すると、前半は名古屋側のミスや消極的なプレーもあり、何度もFC岐阜ユースの時間帯が有り、互角以上の戦いをしていたようです。でも後半になると疲れも出てきたのかFC岐阜ユースにミスが出るようになり、又ハーフタイムで修正してきた地力に勝る名古屋に攻められる時間が多くなりました。そして後半10分頃DFの裏を取られての先制点、終了間際にもクロスから決められて追加点と試合を決められて0対2で敗戦となりました(涙)。(因みに他の2試合も磐田・清水がゼロ封で順当勝ちしました)

FC岐阜ユースは今回もJリーグのユースチーム相手に公式戦で勝利を収め全国大会に出る事は出来ませんでした。でも今年の公式戦はまだまだ続きます。G1リーグもまだまだ始まったばかり。高校総体岐阜予選も終わりましたのでこれからは毎週のようにG1リーグの試合が有ります。こちらでは是非頑張って中位以上の成績を収めて貰いたい。そして秋に行われるJユースカップに向けてチームや選手のレベルアップを図って行って欲しいです。

次の公式戦は6月8日(土)にG1リーグ第4節大垣工業戦が有ります。気持ちを切り替えてG1リーグでの初勝利を目指せ！FORZA！FC岐阜ユース！！(シュナ)

ALADDIN

何も無い店だけど・・・
心の花が咲く・・・
何も無い店だけど・・・
心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

